

小学校第5学年用「Sイチ」

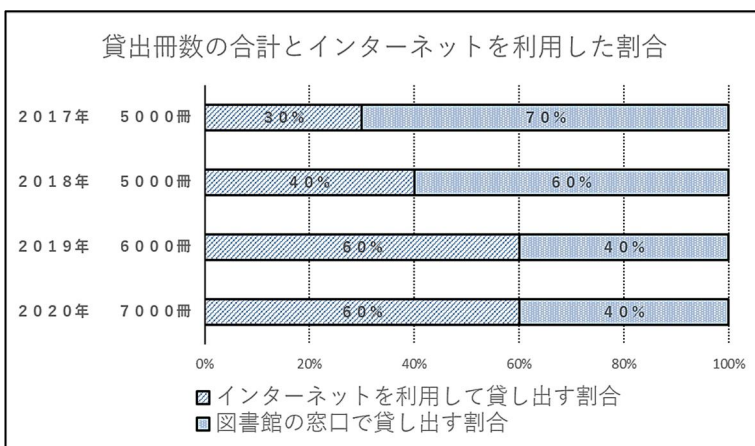
Sサポート「チャレンジ問題①」	学年等	年 組 番
Today's Question (今日の1問)	名 前	

ある図書館では、インターネットを利用して本を借りることができます。

【図】は2017年から2020年までの貸出冊数の合計とインターネットを利用した割合を表しています。

2019年と2020年を比べると、インターネットの貸出冊数はどちらの年の方が多いですか。2017年と2018年の貸出冊数を比べたさとしさんの説明をもとにして、言葉と数や式を使って書きましょう。

【図】



30%と40%を小数で表すと、0.3と0.4になります。

5000×0.3 と 5000×0.4 を比べると、もとにする量は同じで、割合は大きくなっています。

だから、2018年の方が、貸出冊数が多いです。



さとしさん

答え（例）

60%を小数で表すと0.6になります。

6000×0.6と7000×0.6を比べると、割合は同じで、もとにする量は大きくなっています。

だから、2020年の方が、貸出冊数が多いです。

※さとしさんの説明を踏まえ、上記の3つの文の内容が記述されていれば正解

まちがっていたら、どこで、何を^{なに}まちがえたのか^ま確認し、もう一回、

^{こた}答えを見ないでやってみよう。

